



2025年12月 9日

各位

会社名 ReYuu Japan株式会社  
代表者名 代表取締役社長 重富 崇史  
(東証スタンダード: 9425)  
問合せ先 企画管理部長 武本 遼祐  
電話番号 03-6230-9388  
U R L <https://www.reyuu-japan.com/>

## (開示事項の経過) 合弁会社(子会社)の設立に関するお知らせ

当社は、2025年10月14日付「合弁会社設立の準備に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、暗号資産トレジャリー戦略の推進を目的とする合弁会社(子会社)の設立準備を進めてまいりましたが、本日開催の取締役会において、当該合弁会社(子会社)の設立に係る主要事項を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 合弁会社(子会社)設立の目的

当社は、2025年9月17日付「暗号資産の取扱開始の方針決定およびabc株式会社とのビットコインを活用したトレジャリー戦略に関する業務提携に向けた基本合意締結のお知らせ」にて公表のとおり、暗号資産を活用した中長期的なトレジャリー戦略の構築を進めております。2025年10月14日の取締役会において、これを担う合弁会社(子会社)の設立準備を開始することを決議し、関係者間で協議を重ねてまいりましたが、このたび未定としておりました設立に係る主要事項について決議に至り、正式に設立する運びとなりました。今回新たに決定した事項は、名称、所在地、代表者、資本金、決算期、出資比率です。

出資比率は、本戦略の企画・管理主体として経営権を安定的に確保し、連結子会社として位置付ける観点から当社が70%を出資するものいたします。また、当社大株主であり国際的な企業運営の知見を有するSeacastle Singapore Pte. Ltd.が、本戦略の実行を支援するパートナーとして15%を出資いたします。さらに、本合弁会社(子会社)の事業立ち上げにあたっては、実務遂行や運営に加え、戦略の企画・管理、外部パートナーとの調整、暗号資産の運用設計など多岐にわたる領域で役割を担うメンバーが関与いたします。これらのメンバーが一定のリスクを分担し、自ら責任主体として事業推進に参画する体制を構築することを目的として、当社役員・従業員および本戦略に関与する連携関係者が合計15%を個人で出資し、事業へのコミットメントを明確化しております。

本合弁会社(子会社)は、当社のトレジャリー戦略において運用の基盤となることを目的として設立されるものであり、Universal Digital Inc. (本社: カナダ) との間で予定されている最大1億米ドル(約150億円)の融資枠を活用しながら、暗号資産の段階的な取得と運用を進めていく予定です。

当社は本合弁会社(子会社)を通じて、グローバルな外部資本と連携し、暗号資産を活用した先進的なトレジャリー戦略の実現を推進してまいります。

## 2. 合併会社（子会社）の概要

(1) 名 称	ReDigital 株式会社																		
(2) 所 在 地	東京都港区（※）																		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 重富 崇史																		
(4) 事 業 内 容	暗号資産トレジャリー事業																		
(5) 資 本 金	100 万円																		
(6) 設 立 年 月 日	2026 年 1 月																		
(7) 決 算 期	10 月																		
(8) 純 資 産	100 万円																		
(9) 総 資 産	100 万円																		
(10) 出 資 比 率	<table> <tr> <td>ReYuu Japan 株式会社</td><td>70%</td></tr> <tr> <td>Seacastle Singapore Pte. Ltd.</td><td>15%</td></tr> <tr> <td>谷口 領（当社企画管理部部長）</td><td>3.5%</td></tr> <tr> <td>重富 崇史（当社代表取締役社長）</td><td>3%</td></tr> <tr> <td>武本 遼祐（当社企画管理部部長）</td><td>2.5%</td></tr> <tr> <td>澤田 大輔（当社取締役会長）</td><td>2%</td></tr> <tr> <td>吉田 祥生（当社上席執行役員）</td><td>2%</td></tr> <tr> <td>松本 高一（AI フュージョンキャピタルグループ(株) 取締役副社長、(株)ショーケース取締役）</td><td>1%</td></tr> <tr> <td>重住 賢一（当社営業企画部長）</td><td>1%</td></tr> </table>	ReYuu Japan 株式会社	70%	Seacastle Singapore Pte. Ltd.	15%	谷口 領（当社企画管理部部長）	3.5%	重富 崇史（当社代表取締役社長）	3%	武本 遼祐（当社企画管理部部長）	2.5%	澤田 大輔（当社取締役会長）	2%	吉田 祥生（当社上席執行役員）	2%	松本 高一（AI フュージョンキャピタルグループ(株) 取締役副社長、(株)ショーケース取締役）	1%	重住 賢一（当社営業企画部長）	1%
ReYuu Japan 株式会社	70%																		
Seacastle Singapore Pte. Ltd.	15%																		
谷口 領（当社企画管理部部長）	3.5%																		
重富 崇史（当社代表取締役社長）	3%																		
武本 遼祐（当社企画管理部部長）	2.5%																		
澤田 大輔（当社取締役会長）	2%																		
吉田 祥生（当社上席執行役員）	2%																		
松本 高一（AI フュージョンキャピタルグループ(株) 取締役副社長、(株)ショーケース取締役）	1%																		
重住 賢一（当社営業企画部長）	1%																		

（※）所在地は、物件選定および契約手続の最終調整中であるため、現時点で確定している区名までを開示しております。

## 3. 合併相手先の概要

(1)	名	称	Seacastle Singapore Pte. Ltd. (常任代理人 松尾 聖海)																											
(2)	所	在	地	60 Paya Lebar Road #08-06, Paya Lebar Square Singapore 409051																										
(3)	代表者の役職・氏名		Director Tang Koon Heng																											
(4)	事	業	内	容	海運管理業務及びファイナンス																									
(5)	資	本	金	50,000 シンガポールドル																										
(6)	設	立	年	月	日	2006 年 11 月 9 日																								
(7)	大株主及び持株比率		Tang Koon Heng 100%																											
(8)	上場会社と当該会社との間の関係																													
	資	本	関	係	当社普通株式 1,669,300 株（議決権比率：24.92%）および第 2 回新株予約権 35,811 個を保有しています。（2025 年 10 月末時点）																									
	人	的	関	係	該当事項はありません。																									
	取	引	関	係	該当事項はありません。																									
	関	連	当	事	者	へ	の	該	当	状	況	該当事項はありません。																		
(9)	当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態（単位：シンガポールドル）																													
	決算期			2022 年 12 月期			2023 年 12 月期			2024 年 12 月期																				
	純			資			産			190,606			178,454			187,272														
	総			資			産			1,259,205			5,906,368			5,936,530														
	1 株			当			た			り			純			資			産			0.19			0.18			0.19		

売 上 高	132,000	564,188	69,728
営 業 利 益	△8,576	△12,152	8,828
経 常 利 益	△8,576	△12,152	8,828
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	△8,576	△12,152	8,828
1株当たり当期純利益	△0.01	△0.01	0.01

#### 4. 日程

(1) 取締役会決議日	2025年12月9日
(2) 契約締結日	2025年1月
(3) 事業開始日	2025年1月

#### 5. 今後の見通し

本件による影響につきましては、現在精査中でございます。今後、開示が必要な状況になった場合は、速やかに開示いたします。

以 上